

2026年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み目標等について

当社は、輸送の安全の確保が事業の骨幹であるとの認識に立ち、今年度は下記の行動指針・目標等を定め、安全確保に取り組んでまいります。

2026年4月
阪神バス株式会社

1. 輸送の安全に関する目標

【安全スローガン】

全社一丸となって事故防止に全力を尽くす

【行動指針】

基本動作を徹底する（凡事徹底）

事故防止に繋がる施策を絶えず考え、行動に移す

一人ひとりの力で『安全文化』を作る

【輸送の安全に関する目標】

安全目標

- (1) 重大事故を何としてでも撲滅する
 - ・安全速度を守り、歩行者・自転車の保護運転の徹底
 - ・交差点・ターミナルでの確実な安全確認
- (2) 有責事故件数 60 件以下（尼崎交通事業振興(株)委託路線を含む）
 - ・基本運転・操業基準の遵守
 - ・常に「かもしれない運転」を励行する

【事故種別 安全目標】

- ① 公衆負傷・自転車接触の有責事故 ゼロ件
 - ② 発進時の車内事故 ゼロ件
 - ③③ 静止物への接触事故（建造物・バック接触） 対前年度 20%削減
- (3) 輸送の安全に関する予算額
- | | |
|------------|--------|
| 車両関係（更新投資） | 9億0千万円 |
| 教育・安全設備関係 | 3千万円 |

その他目標

- (1) 健康起因事故の防止
 - ・健康診断結果に基づく確実なフォローアップ
 - ・厳正な点呼の実施（点呼は未然防止の最後の砦）
- (2) コンプライアンス遵守の徹底
 - ・道路交通法、道路運送法等の法令遵守
 - ・社内規程の遵守

以上